

# 平成30年 上伊那地域振興局のおもなできごと

○平成30年を振り返り、主なできごとを次のとおり選定しました。

月	内 容		
2月	台湾からのファムトリップを受け入れ  (企画振興課)	台湾の旅行会社5社が、旅行商品の造成に向け、高遠城址公園や光前寺などを訪問、中央アルプス千畳敷では、スノーアクティビティの体験や「純白の結婚式」を見学しました。	
2月	「明日に翔け！上伊那ファーマーズの集い」の開催  (農政課)	上伊那の農業発展に功績のあった方々の栄誉を称えるとともに、上伊那の農業・農産物の魅力を更に発信するため、2月19日に約200名の参加者による集いを開催しました。 農業功績者への表彰や感謝状の贈呈、地域を盛り上げる取組を行っている信州伊那谷ガレット協議会、南箕輪村農村青年倶楽部による講演会を行いました。また、農事組合法人みのわ営農、古田の里赤そばの会による事例発表や箕輪町女性団体による地元食材の紹介・試食会も行われました。	
3月	INA Valley 産業支援ネットワークの設立  (商工観光課)	上伊那地域の産業支援機関等が協力・連携して企業支援を行うことにより、ものづくり産業のオープンイノベーションを加速していくことを目的として、3月6日に「INA Valley 産業支援ネットワーク」を設立しました。 ネットワークでは、情報交換会の開催により地域内外の企業、大学、研究機関等との情報共有を図るとともに、企業の課題解決やイノベーション創出を支援する取組などを推進します。	
3月	上伊那地域子ども応援プラットフォームの発足  (総務管理課)	「信州子どもカフェ」の普及拡大を地域一体となって推進するためのネットワーク組織「上伊那地域子ども応援プラットフォーム」が3月7日に発足し、担い手育成に向けた研修会の開催など、子どもの居場所づくりに取り組みました。 12月1日に開催した「伊那まち丸ごと子どもカフェ」では親子など約270人の参加があり、子ども食堂、遊びの広場、商店街の探検おさんぽ、クリスマスの飾りづくりを体験しました。地域で子どもの居場所を運営している団体等から参加した約60人のスタッフも交流を深めました。	
4月	新たな総合5か年計画がスタート  (企画振興課)	2018年から2022年までを期間とする長野県の新たな総合5か年計画『しあわせ信州創造プラン2.0』がスタートしました。 上伊那地域では「伊那谷らしく豊かで活力に満ちた暮らしづくり」「伊那谷の未来を担う人づくり」「二つのアルプスを活かした交流圏域づくり」「リニア開業を見据えた伊那谷(INA Valley)づくり」の4つを重点政策に掲げ、地域のめざす姿「リニアの時代へ 世界とつながり豊かな暮らしが営まれる 伊那谷(INA Valley)」の実現に向けて計画を進めています。	
4月	第3期森林づくり県民税がスタート ～上伊那地域で多様な活用が進む～  (林務課)	2018年4月から第3期の森林づくり県民税がスタートしました。 里山整備や資源の利活用をはじめ、信州やまほいく認定園の活動場所や学校林の整備など、県民税を効果的に活用した取組が暮らしに身近な場所で進められています。 11月13日には「みんなで作る森林づくり」上伊那地域会議の委員に地域の取組状況について現場視察を行っていただき、ご意見をお聞きしました。	

月	内 容		
6月	リニアに関する意向調査結果を公表  (企画振興課)	リニアが開業した際における伊那谷と東京・名古屋との移動手段、伊那谷各地とリニア長野県駅とのアクセス方法などについて、アンケート調査の結果をとりまとめ、公表しました。 今後、リニア長野県駅とのアクセスのあり方を検討する上での基礎資料とします。	
7月 ～ 9月	信州アフターデスティネーションキャンペーンの開催  (商工観光課)	信州DC(デスティネーションキャンペーン)のアフターキャンペーンが開催されました。 上伊那地域では、昨年度に引き続き、JR東海の特別列車「飯田線リレー号」の運行に併せ、当地域の高校生による観光アテンダント、中学生による写真展等の開催、車内での地元産花きのPR、地元ゆかりの演奏家によるミニコンサート、地元産食品等の販売など、多くの関係者の協力のもとイベントを開催しました。	
8月	伊那谷風土記街道周遊バスの運行  (企画振興課)	8月1日から8月26日まで、伊那谷の雄大なパノラマが広がる伊那谷風土記街道(伊那西部広域農道、伊那中部広域農道)をたどり、JR伊那市駅と5つの美味しいスポット(かんでんばばガーデン、北川製菓(ル・ノール・リヴィエール)、マルス信州蒸留所、駒ヶ根ファームス、養命酒健康の森)を結ぶ周遊バスを運行しました。 1日3往復、26日間の運行で715人の皆様にご利用いただきました。	
8月 ～ 12月	農業用水探検隊を開催  (農地整備課)	地域の農業水利施設の歴史や役割を小学生に学習してもらうための「農業用水探検隊」を8月から12月にかけて計9回開催し、小学4・5年生延べ389人が参加しました。 12年目となる今年は、西春近南小学校、西春近北小学校、西箕輪小学校、辰野南小学校、箕輪北小学校、南部小学校、南箕輪小学校の7校が参加し、西天竜幹線水路の円筒分水工や、伊那西部第1揚水機場などを見学しながら、農業における水の大切さを学んでもらいました。	
10月	一般社団法人長野伊那谷観光局が発足  (商工観光課)	景観や自然、食や文化芸能など、地域内にある観光資源を活かし、観光地経営の視点に立った観光地域づくりを推進するため、10月1日、(一社)長野伊那谷観光局が発足しました。 今後、リニア中央新幹線開通や三遠南信自動車道の整備等を見据えた観光地域づくりに長野伊那谷観光局と連携して取り組みます。	
10月	水路トンネル工事が完成  (農地整備課)	長野県が事業主体となり、平成28年度から飯島町七久保で工事を行っていた原井1号水路トンネル(L=313m)が完成し、10月30日に地元関係者が集まり、竣工式が執り行われました。 既設の素掘りのトンネルは築造から90年を経過し度々落盤が発生していましたが、今回新たなルートでコンクリート水路トンネルとして工事を行ったことにより、防災減災機能の向上と農業用水の安定供給が図られました。	
12月	中央アルプス県立公園の国定公園化に向けた取組が進む  (環境課)	中央アルプス自然公園保護・活用推進協議会が12月26日に開催され、国定公園化に向けた指定書と公園計画について協議されました。 今後、地元自治体等公園関係者の意見を踏まえて国定公園の指定書(案)、公園計画(案)を作成し、県環境審議会を経て、長野県知事から環境大臣へ申し出がされる予定で、平成31年度中の国定公園の指定を目指しています。	